

平成27年度 学校評価 アンケート集計結果と今後の課題

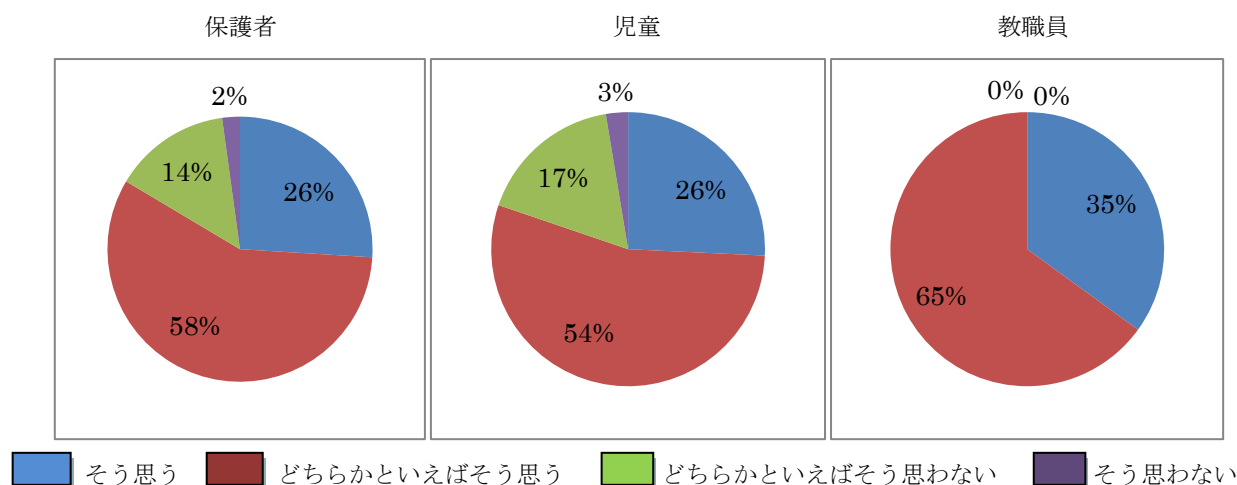
☆アンケート集計結果

設問1

〈保護者〉学校は、一人ひとりの個性や学習の課題を把握しながら児童理解に努力している。

〈児童〉学校の授業ルールを守って発表し、しっかり人の話を聞いている。

〈教職員〉教職員は、一人ひとりの個性や学習の課題を把握しながら児童理解に努めている。

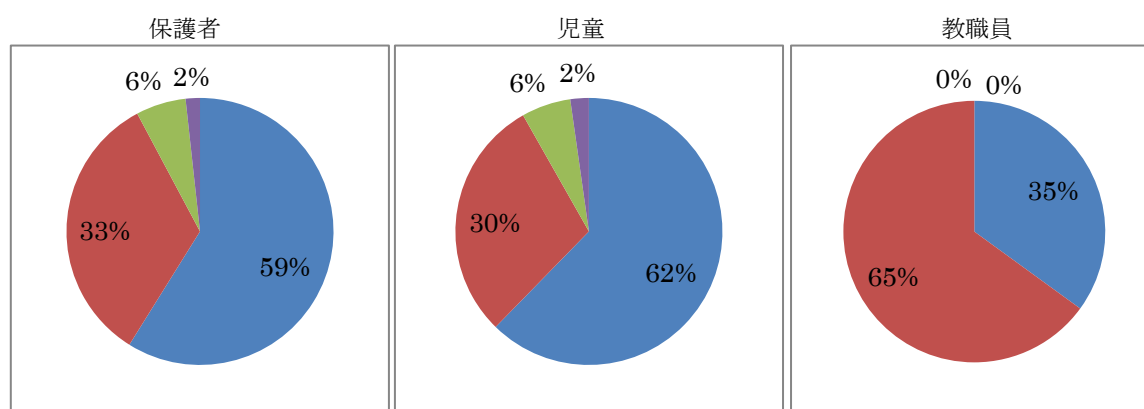


設問2

〈保護者〉学校は、体験活動を通して児童に自立心を養い、あたたかい人間関係をつくろうとしている。

〈児童〉体験活動に積極的に参加している。(環境体験・里山自然学校・修学旅行など)

〈教職員〉教職員は、体験活動を通して児童に自立心を養い、あたたかい人間関係を作ろうとしている。

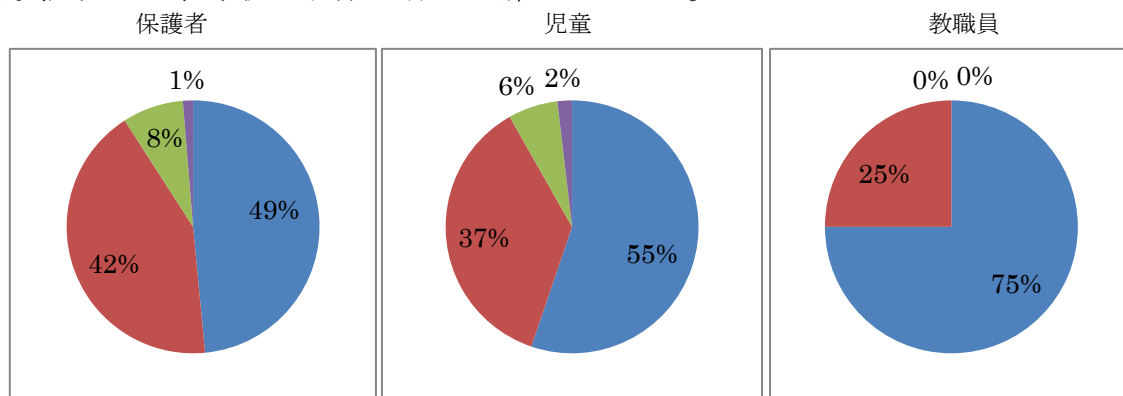


設問 3

〈保護者〉 お子さんは、学校の授業内容が理解できている。

〈児 童〉 学校の授業内容が理解できている。

〈教職員〉 児童は、学校の授業内容が理解できている。

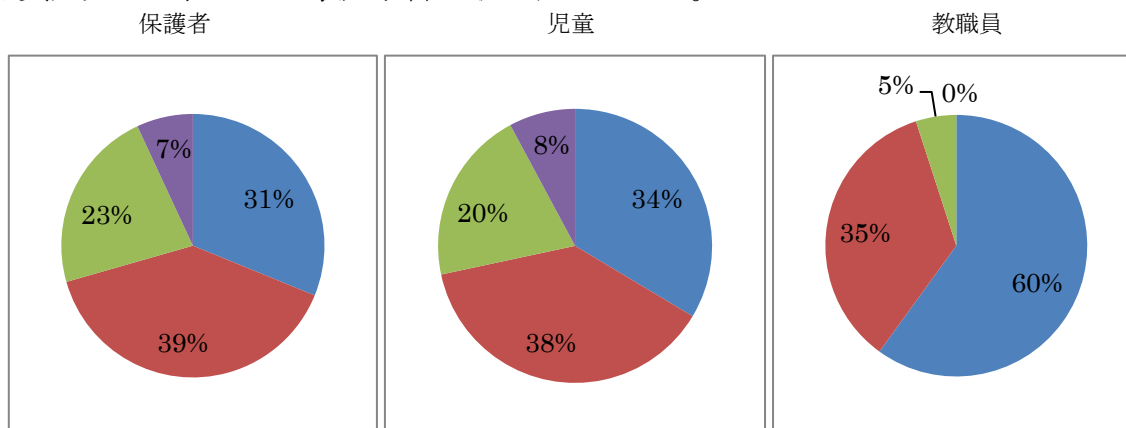


設問 4

〈保護者〉 お子さんは、進んで家庭学習に取り組んでいる。

〈児 童〉 進んで家庭学習に取り組んでいる。

〈教職員〉 児童は、進んで家庭学習に取り組んでいる。

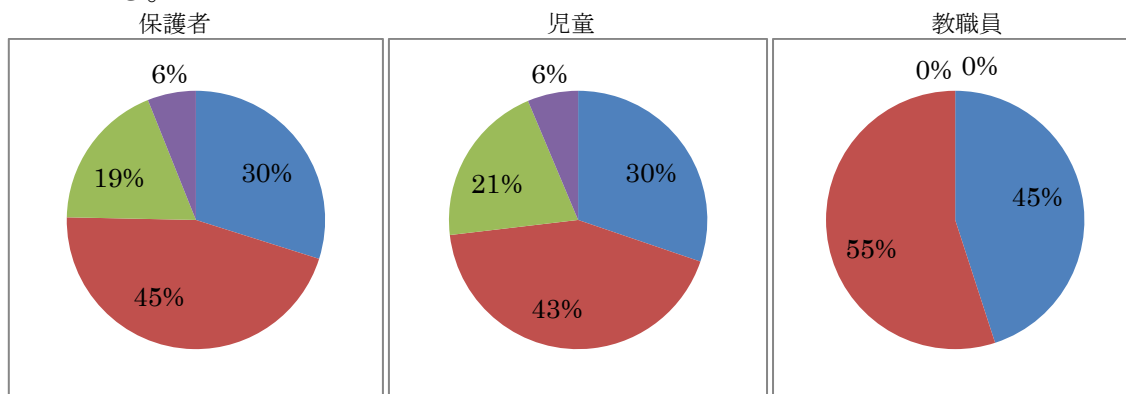


設問 5

〈保護者〉 学校は、児童の人権を尊重し一人ひとりが大切にされるように努力している。

〈児 童〉 学校では自分が大切にされている。

〈教職員〉 教職員は、児童の人権を尊重し一人ひとりが大切にされる学校を築こうとしている。

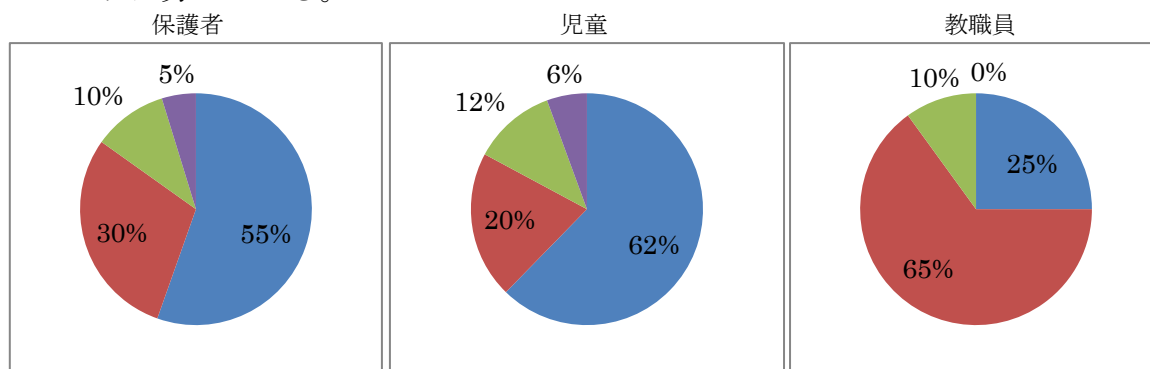


設問 6

〈保護者〉学校は、子どもたちの様子がわかるように情報発信をして、開かれた学校づくりに努力している。

〈児 童〉学校のことを家で話している。

〈教職員〉教職員は、子どもたちの様子がわかるように情報発信をして、開かれた学校づくりに努めている。

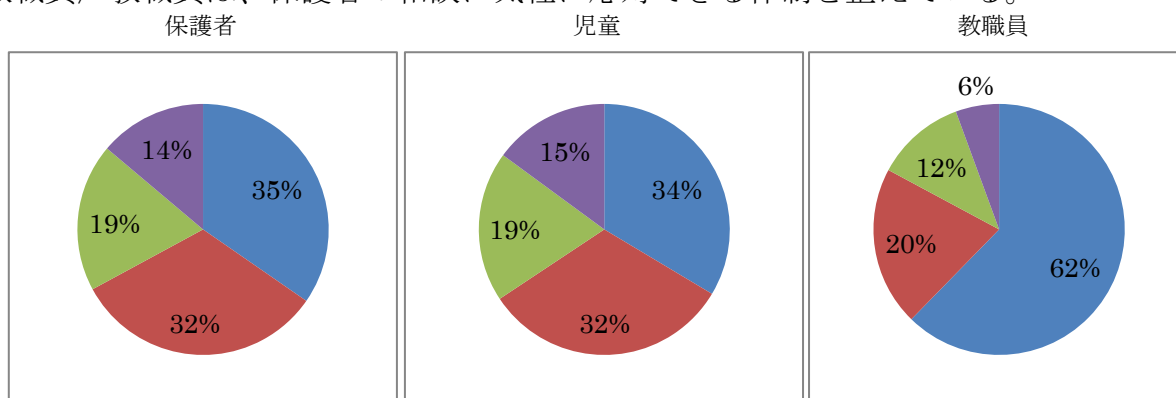


設問 7

〈保護者〉学校の教職員に、お子さんのことを気軽に相談できる。

〈児 童〉困ったことがあったら、学校の先生に気軽に相談できる。

〈教職員〉教職員は、保護者の相談に気軽にに対応できる体制を整えている。

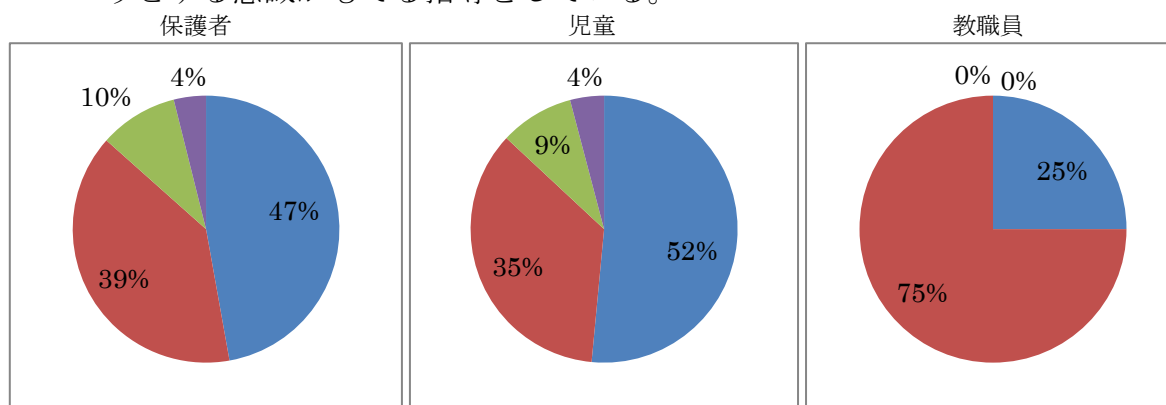


設問 8

〈保護者〉学校は、児童の発達段階に応じた保健教育を実施し、健康や身体を大切にしようとする意識がもてる指導をしている。

〈児 童〉自分の健康に気を配り、体を大切にしようとしている。

〈教職員〉教職員は、児童の発達段階に応じた保健教育を実施し、健康や身体を大切にしようとする意識がもてる指導をしている。

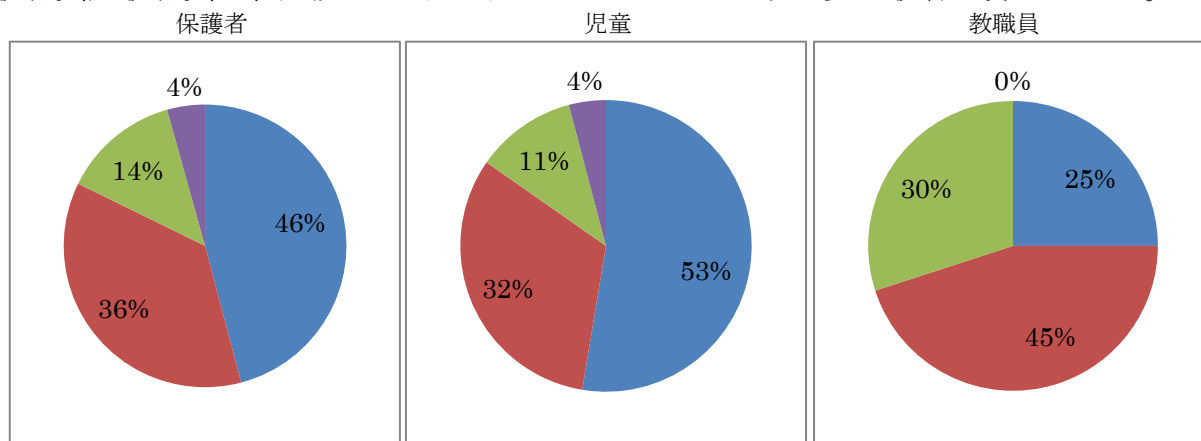


設問 9

〈保護者〉 学校は、危険から身を守ることができるように安全教育に努めている。

〈児 童〉 登校下校中や校内での安全に気をつけている。

〈教職員〉 教職員は、危険から身を守ることができるように安全教育に努めている。

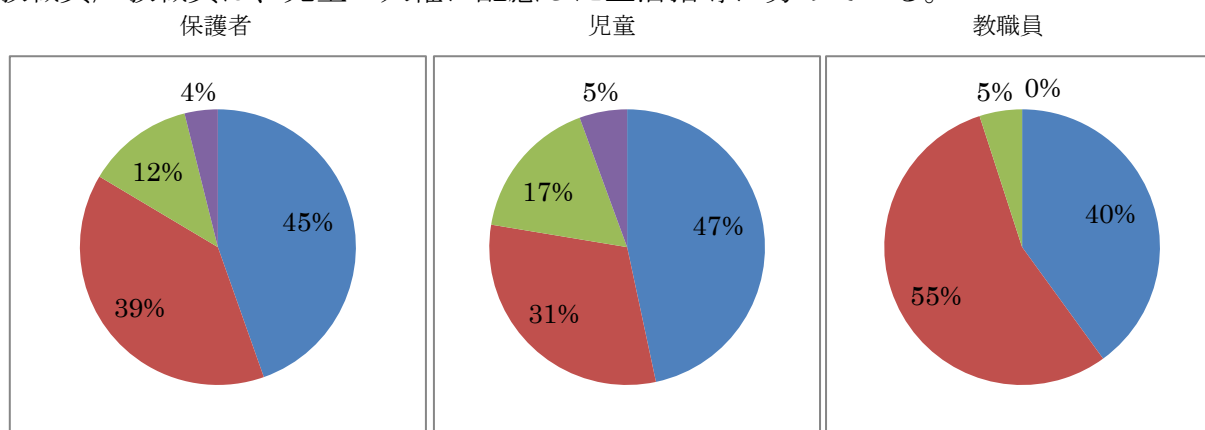


設問 1 0

〈保護者〉 学校は、児童の人権に配慮した生活指導に努めている。

〈児 童〉 学校のきまりを守っている。

〈教職員〉 教職員は、児童の人権に配慮した生活指導に努めている。

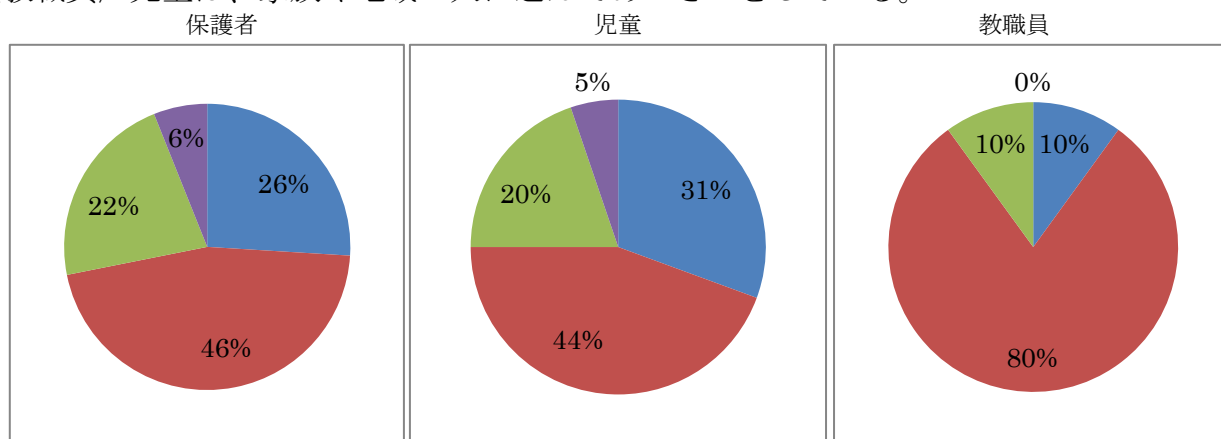


設問 1 1

〈保護者〉 お子さんは、家族や地域の人に進んであいさつをしている。

〈児 童〉 家族や地域の人に進んであいさつをしている。

〈教職員〉 児童は、家族や地域の人に進んであいさつをしている。

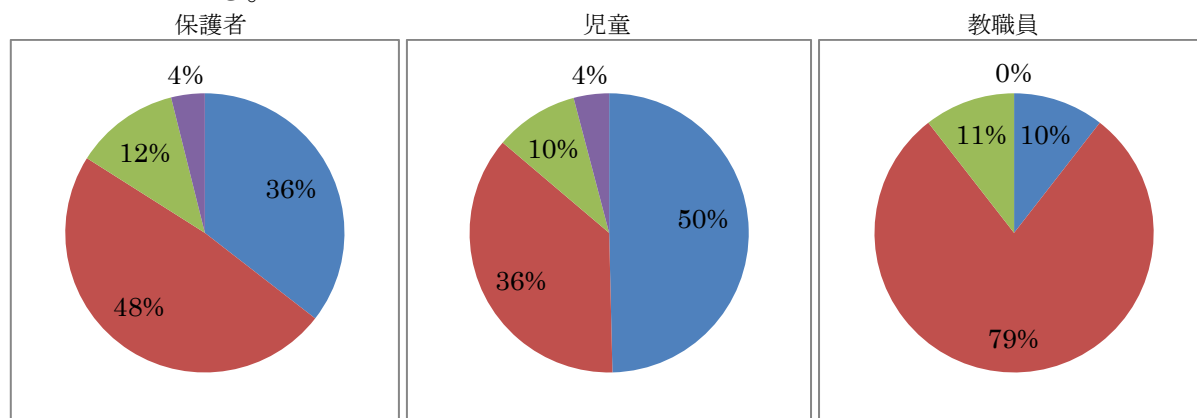


設問 1 2

〈保護者〉学校は、保護者や地域ボランティア等、地域の環境や人材の積極的活用に努めている。

〈児 童〉学校で、保護者や地域ボランティアから教えてもらう学習は楽しい。

〈教職員〉教職員は、保護者や地域ボランティア等、地域の環境や人材の積極的な活用に努めている。



☆分析 設問ごとに回答パターンをそれぞれ点数化し、平均値を算出する。

と思う：3点 どちらかというと思う：2点
 どちらかというと思わない：1点 そう思わない：0点

平均値によって、優秀・良好・課題として評価を集約する。

優秀：2.50～3.00 本校の教育活動に対する満足度が高いものとして、次年度に引き継ぐ。
 良好：2.00～2.49 満足度は高いが、一部に課題がある。
 課題：0.00～1.99 次年度の課題として改善を図る必要がある。

【保護者】

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均値	2.10	2.51	2.40	2.01	2.05	2.40	2.02	2.33	2.28	2.29	1.98	2.20
評価	良好	優秀	良好	良好	良好	良好	良好	良好	良好	良好	課題	良好

【児 童】

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均値	2.06	2.54	2.47	2.06	2.03	2.44	2.00	2.39	2.38	2.25	2.06	2.36
評価	良好	優秀	良好	良好	良好	良好	良好	良好	良好	良好	良好	良好

【教職員】

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均値	2.35	2.35	2.75	2.55	2.45	2.15	2.44	2.25	1.95	2.35	2.00	1.99
評価	良好	良好	優秀	優秀	良好	良好	良好	良好	課題	良好	良好	課題

☆考察と今後の課題

設問 2 体験活動に関する評価

保護者、児童とも評価が高く、自然学校や里山、修学旅行等、各学年とも体験活動に力を入れ、成果も上がっている。

設問 3 授業の理解に関する評価

教職員は、教材研究等多くの時間を費やして授業に備え、日々授業で勝負しているという意識が高いことが推察される。保護者、児童とも授業がわかりやすいことに高評価を与えているが、教職員の意識ほどではないことに留意する必要がある。今後、よりきめ細かな対応等さらに授業改善を進めたい。

設問 4 家庭学習に関する評価

教職員は、宿題等の提出状況から家庭学習ができていると評価しているが、保護者・児童とも 30%ほどが家庭学習が不足していると感じている。きんたくん道場等、放課後の学習タイムで宿題をやりあげ、家庭では宿題以外の復習等ができていないのかも知れない。学校として、家庭学習に対する支援が必要である。

設問 9 安全教育に関する評価

保護者・児童ともに良好と評価しているが、教職員は課題があると認識している。校内の生活状況から、危険と思われる行動を目にする機会が多いためであろう。逆に目に見えている事象に的確に対応できていないという意識があるのだとも言える。次年度には分掌、委員会等の担当を中心に、有効な取り組みが必要である。

設問 11 あいさつに関する評価

保護者は課題とし、児童・教職員とも良好の範疇だが評価は低めである。安全協力員の方からも、昨年度はよくあいさつできたが今年は……、との話を聞く。学年による差があるようで、普段の生活習慣としてどの学年も意識して取り組む必要がある。

設問 12 保護者、地域ボランティアの活用に関する評価

教職員が課題としている。保護者・児童の評価に比べて低いのは、教職員との協働的な取り組みが少ないからだと考える。実際には、図書ボランティア、放課後子ども教室、夏休みプール開放、各学年 PTC 活動等、保護者やボランティアの協力を得た活動も多いのだが、教職員との意思疎通や運営を協働する活動を考える必要がある。

その他、注意事項

設問 1 児童理解に関する評価

保護者・児童の評価が数値として低めである。一人ひとりの個性や学習の課題の把握、学校の授業ルールの徹底、発表や人の話を聞くことについて留意していく必要がある。

設問 5 人権尊重に関する評価

人権総合学習を展開している本校にとって、教職員と保護者・児童との意識の差が意外に大きいことに気づかされる結果となっている。1/4 ほどの学校への期待感が強い回答があったことを真摯に受け止め、次年度の改善を図りたい。

設問7 学校への相談に関する評価

この項目についても、教職員と保護者・児童との意識の差が大きくなっている。気軽に相談できる態勢でいるのだが、実際には話しにくいと思われる要素がないか再点検し、改善を図りたい。

☆学校評議員からの提言

- ・学校として、放課後子ども教室など子どもの居場所作りに力を入れていることは評価できる。
- ・保護者、児童、教職員の回答状況によると、三者の違いが明かな項目がいくつか見られる。そこに、教職員の甘さ（やっているつもりで終わっている）がないかどうかの検討をお願いしたい。

提言を真摯に受け止め、次年度に活かしていきたい。